

## 東京都保育士実態調査（調査結果の概要）

## 調査の概要

## ■ 調査対象

平成29年4月から令和4年3月までの間に、東京都において保育士登録を行った者全員（書換え登録等を含む）52,868名

※平成25・30年度実態調査回答者の一部を含む（無作為抽出）

## ■ 有効回収数

18,239件（有効回収率39.7%：宛先不明6,926件を除く）

## ■ 調査項目

- └ 現在保育士就業者の実態
- └ 過去保育士就業経験者の実態
- └ 保育士就業未経験者の実態
- └ （新）処遇改善やキャリア形成関係
- └ （新）定着やICTなどの業務負担軽減 など

## （参考）平成30年度保育士実態調査

## ■ 調査対象

平成25年4月から平成30年3月までの間に、東京都において保育士登録を行った者全員（書換え登録等を含む）48,000名

※平成25年度実態調査回答者の一部を含む（無作為抽出）

## ■ 有効回収数

15,358件（有効回収率35.7%：宛先不明4,986件を除く）

## ■ 調査項目

- └ 現在保育士就業者の実態
- └ 過去保育士就業経験者の実態
- └ 保育士就業未経験者の実態
- └ 保育士就業前後のイメージ変化
- └ 現在保育士就業者の業務負担感 など

## 主な調査結果の概要

## ① 調査対象者プロフィール

## ■ 性別

n=18,239

- └ 女性：94.0% 男性：5.8%
- └ その他：0.2%

## ■ 保育士資格の取得方法

n=18,239

- └ 指定保育士養成施設卒：56.5%
- └ 保育士試験：43.5%

## ■ 現在の就業状況

n=18,239

- └ 現在保育士就業中：61.8%
- └ 過去保育士就業経験あり：12.3%
- └ 保育士就業経験なし：25.9%

→ 女性が9割台半ばを占め、男性は1割に満たない。6割強が現役保育士である一方で、未経験者が2割台半ばとなっている。保育士試験による資格取得者の割合が増加。

※前回調査→「性別」「就業状況」は大きな変化なし。「保育士資格の取得方法」の「保育士試験」38.7%。

# 東京都保育士実態調査（調査結果の概要）

## 主な調査結果の概要

### ② 現在保育士就業者の実態

#### ■ 就業継続意向 n=11,277

| 項目                        | 今回調査  | 前回調査      |
|---------------------------|-------|-----------|
| 1 今後も保育士として働きたい           | 78.7% | 77.6% (1) |
| 2 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい | 19.4% | 20.3% (2) |
| 3 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ      | 1.9%  | 2.1% (3)  |

() 内は順位

#### ■ 退職意向理由（複数回答） n=2,399

| 項目        | 今回調査  | 前回調査      |
|-----------|-------|-----------|
| 1 給料が安い   | 61.6% | 68.7% (1) |
| 2 仕事量が多い  | 54.0% | 61.9% (2) |
| 3 労働時間が長い | 35.4% | 47.4% (3) |
| 4 職場の人間関係 | 30.1% | 37.1% (4) |

() 内は順位

→ 現役保育士の2割強が退職を考えている。その理由としては、主に勤務条件に関わる項目が高い割合を示している。

#### ■ 現職場への改善希望事項（複数回答） n=11,277

| 項目              | 今回調査  | 前回調査      |
|-----------------|-------|-----------|
| 1 給与・賞与等の改善     | 62.7% | 65.7% (1) |
| 2 職員数の増員        | 48.6% | 50.1% (2) |
| 3 事務・雑務の軽減      | 40.1% | 49.0% (3) |
| 4 職員間のコミュニケーション | 26.8% | 27.7% (6) |

() 内は順位

→ 「給与・賞与等の改善」が6割強で圧倒的に高い。

#### ■ (新) 役職（上位の役職）への就任希望の有無 n=11,277

- はい（考えている）：23.6%
- いいえ（考えていない）：67.1%
- 副主任保育士等の役職がない：9.4%

#### ■ (新) 就任を希望しない理由（複数回答） n=7,564

- 責任の重い仕事をしたくない：42.7%
- 役職に見合った昇給が見込めない：38.2%
- 今の仕事やポジションに満足している：37.0%
- 後輩の育成より子供に向き合う仕事に取り組みたい：28.7%

→ 役職（上位の役職）への就任を希望しない者が約7割と圧倒的に高い。その理由としては、「責任の重い仕事をしたくない」が4割強と最も多く、次いで「役職に見合った昇給が見込めない」、「今の仕事やポジションに満足している」が約4割となっている。

# 東京都保育士実態調査（調査結果の概要）

## 主な調査結果の概要

### ③ 過去保育士就業経験者の実態

#### ■退職した理由（複数回答）

n=2,241

| 項目        | 今回調査  | 前回調査      |
|-----------|-------|-----------|
| 1 職場の人間関係 | 31.5% | 33.5% (1) |
| 2 仕事量が多い  | 23.1% | 27.7% (3) |
| 3 給料が安い   | 22.1% | 29.2% (2) |
| 4 健康上の理由  | 20.6% | 20.6% (6) |

( ) 内は順位

→ 「職場の人間関係」が前回同様、3割強で最も多い。

※前回調査→上位3項目は順位の変動はあったが、同様。

#### ■復職時の希望条件（複数回答）

n=2,241

| 項目     | 今回調査  | 前回調査      |
|--------|-------|-----------|
| 1 勤務時間 | 73.8% | 76.3% (3) |
| 2 給与等  | 69.0% | 63.7% (4) |
| 3 通勤時間 | 61.6% | 79.9% (1) |
| 4 勤務日数 | 57.3% | 77.8% (2) |

( ) 内は順位

→ 主に勤務条件に関わる項目が高い割合を示している。

※前回調査→上位4項目は順位の変動はあったが、同様。

### ④ 保育士就業未経験者の実態

#### ■保育士として就業しなかった理由（複数回答）

n=4,720

| 項目                  | 今回調査  | 前回調査      |
|---------------------|-------|-----------|
| 1 幼稚園での勤務を希望した      | 20.9% | 29.4% (1) |
| 2 希望する給与等待遇の求人がなかった | 19.2% | 20.3% (2) |
| 3 別の職業を希望した         | 19.2% | 17.5% (3) |
| 4 資格取得が目的           | 14.7% | 11.2% (5) |

( ) 内は順位

→ 「幼稚園での勤務を希望した」が2割で最も多い。

条件の合う求人がなかったという理由も上位。

※前回調査→上位3項目は同様。

#### ■保育士就業時の希望条件（複数回答）

n=4,720

| 項目                  | 今回調査  | 前回調査      |
|---------------------|-------|-----------|
| 1 給与等               | 74.6% | 62.4% (4) |
| 2 勤務時間              | 70.5% | 67.7% (3) |
| 3 勤務日数              | 57.6% | 71.8% (1) |
| 4 通勤時間              | 48.5% | 71.3% (2) |
| — どのような条件でも働くつもりはない | 2.8%  | 4.4% (—)  |

( ) 内は順位

→ 主に勤務条件に関わる項目が高い割合を示している。

「どのような条件でも働くつもりはない」と回答した人は、わずかで、条件が合えば保育士として就業する可能性を有している。

※前回調査→上位4項目は順位の変動はあったが、同様。

# 東京都保育士実態調査（調査結果の概要）

## 都の支援施策

### 保育士の処遇改善

- ☞ 国の処遇改善等加算 3拡充
  - ↳ 3%程度（月額9,000円）の処遇改善（処遇改善等加算Ⅲ）
- ☞ 保育士等キャリアアップ補助
- ☞ 保育士等キャリアアップ研修支援事業

### 保育士の職場環境改善

- ☞ 保育人材確保事業 5拡充
  - ↳ 保育士就職支援研修・就職相談会（年4回→年6回）
  - ↳ 社会保険労務士による定着支援  
保育事業者から挙げられた課題を踏まえ、課題解決の糸口を見出し、職場環境の整備を進め、職員の定着を目指す。
- ☞ 地域における保育力アップ推進事業（保育所間交流や園長会における意見交換など、地域交流の促進に取り組む区市町村を支援）

### 保育士の事務負担軽減

- ☞ 保育体制強化事業（保育支援者の雇用経費を補助） 5拡充
  - ↳ 一部の時間帯のスポット的な保育支援者の配置に係る雇用経費を補助
- ☞ 保育補助者雇上強化事業（保育補助者の雇用経費を補助）
- ☞ 保育補助者雇上支援事業（保育補助者の雇用経費を貸付）
- ☞ 地域における保育人材就労サポート事業（保育補助者等の就職のサポート等に取り組む区市町村を支援）
- ☞ 保育所等デジタル化推進事業 4拡充
  - ↳ 区市町村等において、ICT支援人材を配置し、管内の保育所等を巡回することで、デジタル化を支援（負担割合：都1/2 区市町村1/2）